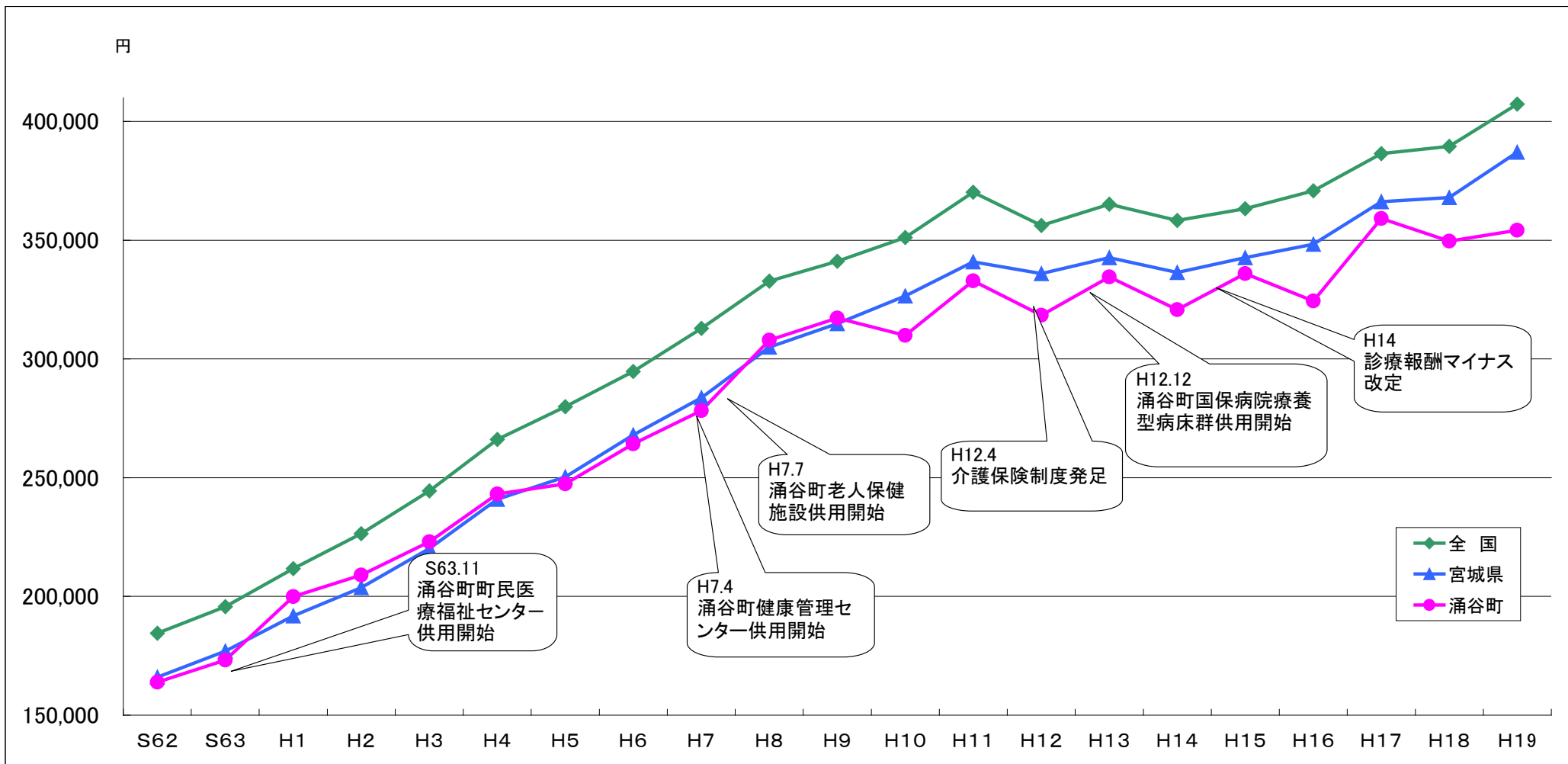


涌谷町国民健康保険 医療費1人当費用額の推移(国・県全体との比較)



	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
全国	184,467	195,723	211,706	226,462	244,462	266,052	279,824	294,669	312,806	332,742	341,072	351,083	370,177	356,239	365,145	358,322	363,273	370,808	386,446	389,551	407,248
宮城県	166,065	176,987	191,800	203,727	220,126	240,873	250,360	268,038	283,665	305,019	314,873	326,554	340,853	335,930	342,673	336,413	342,670	348,241	366,163	367,931	387,087
涌谷町	163,880	173,140	199,904	208,976	222,982	243,093	247,390	264,278	278,223	307,958	317,239	309,918	332,859	318,354	334,539	320,795	335,950	324,385	359,084	349,538	354,179

※14年度は3～2ベースの費用額 (単位:円)
※全国・宮城県の数値は「国民健康保険の実態」市町村計による

地域包括医療・ケアを実践する涌谷町からの提言

○地域包括医療・ケアの展開が医療費抑制に有効！

今後も地域包括医療・ケアを展開する市町村が増えるよう、ぜひ政策誘導が必要と思う。

○健診は保険制度別ではなく住民全体を対象とした財政措置を！

地域は住民の共同体意識によって成り立っている。したがって地域住民を保険制度別に区分するわけにはいかない実状がある。もし住民全体を対象にすることが難しいのであれば、せめて国保被保険者と後期高齢者の保健事業は一体的に提供する体制が必要である。

○介護保険と医療保険の一体化を！

高齢者にあっては介護保険の施設でも医療が必要だし、医療施設でも介護が必要なため、制度としては一体である方が合理的。